

第43期（令和2年度）事業の概要について

令和3年6月24日

千葉都市モノレール株式会社

1 事業の概要

令和2年度の営業成績は、新型コロナウイルス感染症の影響による不要不急の外出自粛やテレワークの推奨、学校の休校等、社会経済活動の大きな変容により、輸送人員・運輸収入共に対前年度比で約76%まで落ち込みました。

これにより第43期（令和2年度）は15期ぶりに赤字決算となりました。

そのような中で、当社の経営基盤となる安全・安定輸送を継続するため、経年劣化対策として取り組んでいる殿台変電所更新工事や運行管理システム更新工事を着実に進めるとともに、耐用年数が経過した車両（2編成）を安全性や環境に配慮した車両に更新するなど、設備更新に取り組みました。

一方で、変電所更新工事において、請負業者の作業手順の確認不足を起因とする「き電ケーブル」の焼損により、大規模な輸送障害（約2日間）が発生したことや、千葉駅分岐器における転てつ機更新工事においても転てつ機の転換不良により、輸送障害が発生したことなど多くのお客様にご迷惑をお掛けいたしました。

今後は、この2件の事例を教訓とした再発防止対策を講ずることはもとより、更なる安全対策を実施し、事故防止に努めてまいります。

第44期（令和3年度）は、前期の内容を受け、当社の基本戦略としている「安全・安定輸送の継続」、「さらなるサービスの向上と利用促進」及び「将来を見据えた経営環境の強化」を着実に推進すると共に、新型コロナウイルス感染症による社会経済の変化に対応した利用促進に会社全体で努めて参ります。

（1）営業実績

令和2年度の輸送人員は1,489万9千人となり、前年度と比べ451万1千人減少しました。

内訳としては、定期外輸送人員で299万6千人減少、定期輸送人員で151万4千人減少しました。

新型コロナウイルス感染症による2度の緊急事態宣言の発出もあり、定期外・定期共に輸送人員は大幅に減少しましたが、その要因については、次のように分析しています。

① 定期外

緊急事態宣言（1回目）が発出された4、5月の利用者は前年同月比の約35%にとどまったほか、宣言解除後も不要不急の外出を自粛する傾向から、6月から9月までは、同60%台後半の利用者数で推移しました。10月はGOTOキャンペーン等の影響で人出が戻ってきたこともあり、前年同月比で83%まで利用者が戻り、回復傾向にあると期待されましたが、再び感染が拡大した（第3波）11、12月は、同70%台まで減少、2回目の緊急事態宣言が発出された1、2月は同60%台とさらに利用者が減少することとなり、令和2年度累計の輸送人員は、前年度比で299万6千人減の582万7千人（対前年度比66.04%）となりました。

② 通勤定期

出勤率7割抑制という政府からの要請があったことを受け、各企業で出社制限、テレワーク等によるリモ

ート勤務の推進を進めた影響から、4、5月の利用者は、前年同月比で約90%となりました。

また、宣言解除後もテレワークなどの取り組みを継続している企業が多いほか、密を避けるため、通勤手段を公共交通機関から車や自転車などへシフトした方もいると思われ、令和2年度累計の輸送人員は、前年度比で102万3千人減の772万5千人（対前年度比88.31%）となりました。

③ 通学定期

多くの学校が4、5月の2ヶ月間休校した事により、同期間の通学利用者が大幅に減少したほか、6月以降も大学を中心にオンライン授業で通学の必要が無くなった学生や、夏休み等長期休暇中の部活動の休止による学生の定期券利用が減少したことなどから、令和2年度累計の輸送人員は、前年度比で49万1千人減の134万5千人（対前年度比73.24%）となりました。

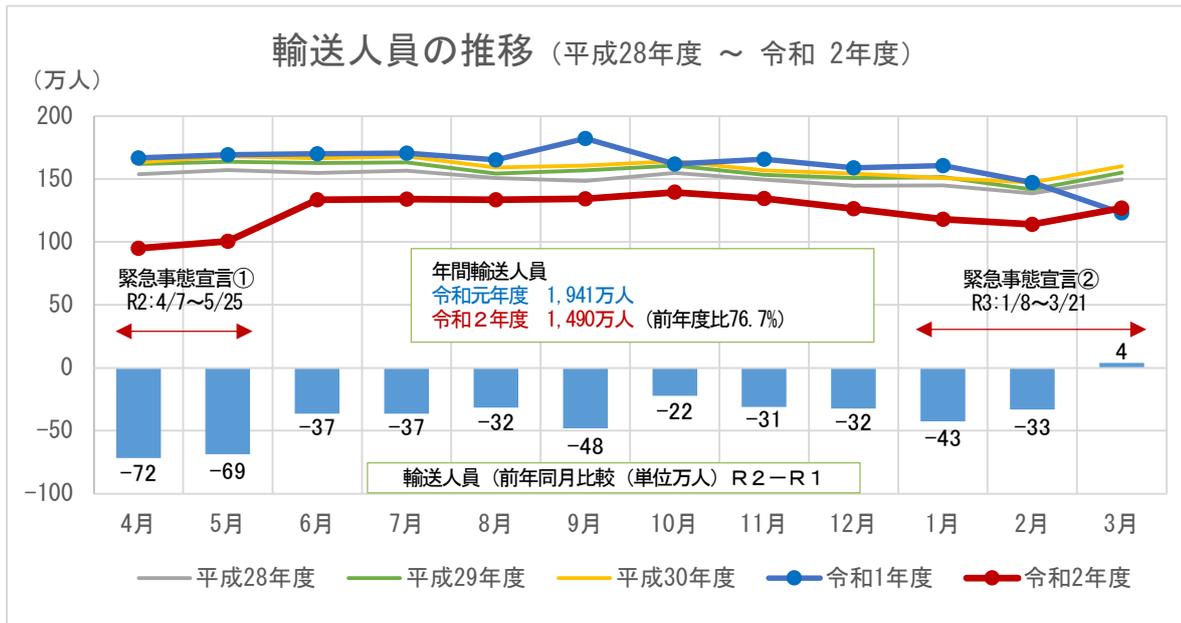
また、運輸収入は定期外収入13億1,500万円、定期収入12億2,500万円、合計で25億4,000万円となり、前年度と比べ8億3,800万円（対前年度比75.19%）の減少となっています。

原因については輸送人員と同様、新型コロナウイルス感染症の影響で利用者が減少したこと、特に1人あたりの支払単価が高い定期外の減少幅が大きかったことが影響していると考えられます。

輸送人員・運輸収入

（単位未満の端数切捨）

区 分	令和2年度	令和元年度	増 減	対前年度比	
輸送人員	(千人)	(千人)	(千人)	(%)	
定期外	5,827	8,824	△2,996	66.04	
定期	通勤	7,725	8,748	△1,023	88.31
	通学	1,345	1,837	△491	73.24
定期計	9,071	10,585	△1,514	85.69	
合 計	14,899	19,410	△4,511	76.76	
運輸収入	(百万円)	(百万円)	(百万円)	(%)	
定期外	1,315	1,973	△657	66.67	
定期	通勤	1,085	1,215	△130	89.30
	通学	139	190	△50	73.46
定期計	1,225	1,405	△180	87.16	
合 計	2,540	3,379	△838	75.19	



（2）主な取り組み

① 安全・安定輸送の継続

- ・新造車両への更新（2編成）
- ・千葉駅転てつ機更新工事
- ・軌道作業車の更新
- ・消防・警察との連携合同避難訓練

② さらなるサービスの向上と利用促進

- ・駅トイレリニューアル・洋式化
- ・駅の床サイン貼付
- ・アニメ「俺ガイル」やボーカロイドキャラクター「初音ミク」とのコラボ企画（ラッピング列車の運行、オリジナルグッズの発売等）

③ 将来を見据えた経営環境の強化

- ・二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金等の活用（車両設備）
- ・新型コロナウイルス感染症に係る給付金・交付金制度の活用
- ・グリーンスローモビリティの活用検討に向けた実証調査 in 桜木への協力
- ・沿線小学校へへの出前授業を実施

④ 新型コロナウイルス感染症対策

- ・駅係員、乗務員の勤務中のマスク着用
- ・日常の車両清掃時に座席やつり革等の除菌を実施
- ・走行中の電車の窓開けによる車内換気の促進
- ・車内換気の検証結果を公表
- ・駅務機器や駅エレベーター等の設備に消毒液を用いた日常清掃の実施

- ・飛沫感染対策として駅窓口にビニールカーテンを設置
- ・全車両の車内及び全駅の自動券売機・ICチャージ機に抗菌・抗ウイルスコーティング剤を塗布
- ・駅構内および電車内における感染予防に関する案内放送を実施
- ・感染症予防対策のチラシ・ポスターの掲示

以上

<お問い合わせ先>

千葉都市モノレール株式会社 総務部経営企画課

電話 043-287-8216